Osaka Metro

2023 年度

南海電鉄 ×Osaka Metro

大阪・まち・再発見

南海ハイキング× ぶらりウォーク

2023年 12/2 (土)

第7回

なかもずから浜寺公園へ社寺と公園をめぐる 約 10.5 km

ご注意

1. このマップを使用して歩かれる場合は、自己責任でお楽しみください。
2. 交通ルールを守りましょう。
3. 神社、仏閣などの信仰の場所では、ルールを守ってご参拝ください。
4. コースは工事等で通行できない場合があります。ご注意ください。
5. 歩行喫煙やタバコのポイ捨てはやめましょう。
6. ごみ・空き缶等は各自で持ち帰りましょう。
7. 交通ルールを守りましょう。
8. 施設等の開館日・開館時間は各自でご確認ください。
9. 建物等は、開催日とは異なっている場合がありますので、ご容赦ください。

〈ウォーキングは、お互いに迷惑にならないよう ルールを守ってお楽しみください。〉

N

START
Osaka Metro なかもず駅 改札外通路

地下通路を進み ⑥号出口を上がる

① 御廟表塚古墳

② 百舌鳥八幡宮

③ きりんそう公園

④ 文珠塚古墳

⑤ 神野公園 (休憩適地)

⑥ 家原大池公園 (休憩適地)

⑦ 家原城跡

⑧ 大鳥大社

⑨ 浜寺公園 (休憩適地)

GOAL
南海電鉄 浜寺公園駅 西改札

歩道がなく 車が多いので注意！

【コース概要】

Osaka Metro なかもず駅をスタートし、西高野街道へと進みます。西高野街道には御廟表塚古墳があります。この古墳は前方後円墳の古墳ですが、今は円墳のように見えています。御廟表塚古墳を見学した後は百舌鳥八幡宮へと進みます。百舌鳥八幡宮は、秋に催される神事の「ふとん太鼓」奉納行事が有名で、約 1 万坪の境内には巨木楠樹が茂っており、樹齢約八百年で大阪府の天然記念物に指定されています。運試しに可愛い「埴輪みくじ」はいかがでしょうか。百舌鳥八幡宮をあとに、百舌鳥川沿いをぶらり歩き。約 1.5 kmの道を散策して、きりんそう公園、文珠塚古墳へと進みます。文珠塚古墳は前方後円墳の古墳で 1971 年（昭和 46 年）に国の史跡に指定されています。文珠塚古墳をあとに神野公園（休憩適地）へ進み、一息入れましょう。その後は家原大池公園（休憩適地）へ。家原大池公園は、池の水面を活かした水上デッキのある公園で、子ども達が安心してのびのびと遊べ、池には鯉なども生息し、安らぎを感じる空間となっています。また、園内には地下構造の体育館も設置されていて、市民に広く利用されている公園です。公園の直ぐ傍には家原城跡があり、とにかく目を引く立派な門構えです。家原城跡を見学した後は大鳥大社へと進みます。大鳥大社は、「日本武尊（やまとたけるのみこと）」をお祀りした神社で、15,000 坪の境内には大鳥造の社殿があり、出雲大社の大社造の次に古いといわれています。また、樹齢 600 年を超える根上がりの楠や珍しい八角形の柱の鳥居はパワーを感じます。大鳥大社の後は浜寺公園（休憩適地）へ。浜寺公園は、明治 6(1873) 年に完成した日本最古の公園の一つで、「名松 100 選」の美しい松林を誇る白砂青松の面影を残す緑豊かな公園です。園内にはプール、交通遊園や春秋が見ごろのバラ庭園などがあります。浜寺公園を散策し、ゴールの南海電鉄浜寺公園駅を目指します。ゴールの浜寺公園駅の横には旧駅舎が残されています。この旧駅舎は、1907 年に京駅などの設計で知られる辰野金吾が所属した建築事務所の設計により建築された木造平屋建ての駅舎で、1998 年に国の登録有形文化財に登録されていて、現在はカフェとして利用されています。

コース

START Osaka Metro なかもず駅 → ① 御廟表塚古墳 → ② 百舌鳥八幡宮 → ③ 百舌鳥川沿い → ③ きりんそう公園 → ④ 文珠塚古墳 → ⑤ 神野公園（休憩適地） → ⑥ 家原大池公園（休憩適地） → ⑦ 家原城跡 → ⑧ 大鳥大社 → ⑨ 浜寺公園（休憩適地） → GOAL 南海電鉄 浜寺公園駅

ぶらりウォーク公式 「X(旧 Twitter)」でもっと楽しく。